

ハザードマップで 避難ルートの確認を!

たかやま自民クラブ
西田 稔



問 土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定について、市が作成しているハザードマップと県が指定し公示しているハザードマップとではレッドゾーン・イエローゾーンの改定時期に差異があるが優先度についてどう考えるか。

答 市のハザードマップについては令和5年度に更新を予定しており、その際には最新の情報をもとに作成するため差異は生じなくなる。最新の情報は県のホームページに掲載されていることを市のホームページや窓口、出前講座等で説明していく。



山口型放牧形式の 実証的な試みは

たかやま自民クラブ
石原正裕



問 自給飼料の確立・耕作放棄地の改善・堆肥の利用・景観保全等のメリットを含め過疎化が進む中山間地域の持続可能な姿として、耕作放棄地等を電気牧柵等で囲い、牛を放牧する仕組みを用いた耕畜連携の新たな取り組みである「山口型放牧形式」への試みを提案するがどうか。

答 人里地帯での放牧にあたり、放牧する牛への対応や課題もあるが、それを踏まえたうえで遊休農地解消や自給飼料の向上を図るため、地域で主体的に取り組む意欲のあるところへノウハウを提供するなど、実証的な試みに対し連携して取り組んでいく。



山口型放牧

卸商業センターの 機能について

たかやま自民クラブ
笠原 等



問 卸売市場と高山卸商業センターの関係性は、建設当時と比べ大きく変化してきている。こうした中において、問屋町全体における土地利用の規制の見直しを進めるべきではないか。

答 土地利用規制の緩和のみを目的とした都市計画の変更は予定していないが、将来的な問屋町周辺のあり方については、関係者や関係機関の考えなどを踏まえ、議論していく必要があると考えている。



高山卸商業センター

市長退任にあたって (市政12年間の思いについて)

たかやま自民クラブ
橋本正彦



問 12年間支えていただいた、市職員、亡き理事、副市長に対する現在の思いは。

答 公約を概ね果たすことが出来たのも、職員の皆様の市民の負託に応えようとする高い志と実行力があってのことであり、心から感謝している。

長年私を支えていただいた亡き理事の功績に深く感謝するとともに、市政への熱い思いを次代の職員に引き継がなければと強く思っている。また日本一広い市域の副市長として、大変な気苦労があったと思う。12年間多岐にわたる事業を実施できたのも副市長のご努力の賜物であり、感謝している。

